

立憲民主党公認

敬 弘

清水たかひろ



手稲区から

都市と農村をむすぶ 生産者と消費者の 「かけ橋」に



手稲区民のみならず、私、清水たかひろは、みなさんの声を道政に届けるため、手稲区の様々な課題にしっかりと向き合います。農業経験者として都市と農村をむすび、生産者と消費者の「かけ橋」となるため、「地域をつなぐ現場主義」を信条に、手稲区の素晴らしい財産、魅力を存分に活かし、活力あふれる元気なまち「ていね」の未来実現に向けて、これまでの経験と持てる力のすべてを注ぎます。

地域をつなぐ現場主義、手稲区からチャレンジ!

1 子育て世代が安心して暮らせる 元気なまち「ていね」

- 子ども医療費助成引き上げ、学校給食費の無償化。
- 保育士の待遇改善や増員による保育環境の充実改善。
- 産前産後サポートや保健師、児童福祉司の増員などの支援推進。

3 女性も男性も すべての年齢層に働きがいのある 元気なまち「ていね」

- ワークライフバランスや男女共同参画に基づく働きやすい職場環境づくり。
- 商店街や地元産業の活性化などを基軸とした起業支援。

2 福祉・医療政策が すべての年齢層に対応する 元気なまち「ていね」

- 区民の健康をサポートする医療提供体制と介護体制の支援強化。
- 住み慣れた手稲区でこの先も暮らしていくための日常生活の支援強化。(除排雪、買物、交通手段支援など)

4 自然の豊かさ、 都市と農村をむすぶ活力あふれる 元気なまち「ていね」

- 食の安全安心、地域をつなぐ食育・食農教育などの取り組み推進。
- 風水雪害・地震など、あらゆる災害に負けない防災・減災のまちづくり。

清水敬弘プロフィール

●1975(昭50)年2月4日:斜里郡清里町で農業を営む両親の長男として生まれる。高校卒業までスピードスケートと陸上競技で心身を鍛える。
●1995年3月:北海道立農業大学校を卒業。翌1996年3月より幅広い農業知識と国際的感覚を身につけるためドイツ連邦共和国(ヘッセ州ノイホフ)に1年間の農業留学。帰国後、本籍地で農業に従事。
●2000年12月:結婚。●2008年9月:農業団体「北見地区農民連盟」の専従職員として勤務。上京要請の際、各種法案の政策立案には「政治の力」が深く関与していることを痛感。●2018年4月:参議院議員 徳永エリ北海道事務所で公設秘書として勤務。約4年半、北海道内各地で徳永議員に帯同し、地域の多岐にわたる課題解決を中心に議員間の連携や選挙応援などに奔走すること政治活動を学ぶ。●2022年10月15日:立憲民主党でいね支部副代表として活動を開始。現在に至る。



公式HP shimizu-takahiro.net